

第12期第10回 小平市廃棄物減量等推進審議会

事務局からの報告事項（メモ）

1 平成29年12月議会報告

(1) 一般質問（概要）

質問 橋本 久雄議員

「市民の声を無視した3市共同資源物処理施設の新設による影響について」

- ① 東大和市議会の議決についての評価について
- ② 硬質の容器包装プラスチックの資源化促進の対策について
- ③ 容器包装プラスチックの資源化について
- ④ 容器包装プラスチックの処理コストについて
- ⑤ 3市共同資源物処理施設を建設しない場合の問題について

答弁

- ① 3市共同資源物処理施設は、3市の安定的なごみ処理にとって必要不可欠な施設であり、事業計画に基づき推進すべきと、3市長及び衛生組合の4団体で確認してきたものです。東大和市議会で、都市計画手続き中止を求める陳情が議決されましたが、他市の議会の状況でございますので、コメントすることは控えさせていただきます。
- ② 市報やホームページ、広報紙を通じて積極的な啓発の他、説明会、施設見学、イベントなどにより、分別の徹底について周知に努めてまいりました。
- ③ 昨年度における、燃えるごみ及び燃えないごみの中に含まれている資源化すべきプラスチック量のうちから、家庭ごみの有料化により、おおむね50%を減量するとしており、約1千トン以上が資源化されると見込んでおります。
- ④ 今後の安定的な3市共同の廃棄物体制の維持及び向上を図ることを目的に、総合的に検討を行っており、具体的なコスト比較は行っておりません。
- ⑤ リサイクルセンターの更新にかかる整備計画を始め、小平・村山・大和衛生組合における仮称不燃・粗大ごみ処理施設整備基本計画及び仮称新ごみ焼却施設整備基本計画案に基づく施設整備に大きな影響を及ぼすこととなり、安定的な処理体制が構築できない可能性があると考えております。

質問 細谷 正議員

「家庭ごみの資源化、ごみの減量施策、市民への周知をさらに進めるべき」

- ① 家庭ごみの有料化及び戸別収集への移行実施計画素案に対する市民の反応について
- ② 家庭ごみ未分別等に対する注意喚起について
- ③ 家庭ごみ有料化実施前の十分な施策について
- ④ 仮称新ごみ焼却施設整備基本計画案の中島町地域住民への周知について

答弁

- ① パブリックコメントでは、170人を超える方々から意見が寄せられ、12回実施した市民説明会では、843人の方々にご参加いただき、市民の皆様のごみに対する意識や関心の高さを認識しております。
- ② ごみの分別やごみの出しの曜日など、出し方に問題のあるごみにつきましては、収集業者が警告シールを貼り、排出者に改善を促しております。また、状況に応じ、市職員も現場を確認し、改善のための指導や巡回を行うとともに、ごみと資源の出し方パンフレットなどの配布を行っております。
- ③ 平成26年3月に小平市一般廃棄物処理基本計画を策定し、食物資源循環事業、食物資源処理機器購入補助、食品ロスの削減の推進、リサイクルきゃらばんでの陶磁器食器などの扱

点回収、小型家電回収ボックスの設置、ごみ分別アプリの導入、資源化品目の拡大など、様々な施策に取り組むとともに、市民の皆様に対し、あらゆる場面で丁寧な説明を行ってまいりました。

- ④ 小平・村山・大和衛生組合からは、中島町及び周辺自治会や関係団体の方々に構成されている、ごみ処理事業に関する連絡協議会及び新ごみ焼却施設の整備にかかる懇談会を設置し、基本計画案をとりまとめたと同っております。

質問 伊藤 央議員

「小平市ごみ減量推進実行委員会の使途不明金問題について」

- ① 使途不明金の経緯について
- ② 返還請求について
- ③ 刑事告訴について
- ④ 実行委員会の会計の精査について
- ⑤ ポスター印刷や食材調達等の発注先について
- ⑥ 朝鮮大学校へ公金を支出することの市としての見解について
- ⑦ 今後の実行委員会について

答弁

- ① 市の補助金交付団体である小平市ごみ減量推進実行委員会が主催するこだいら環境フェスティバルのポスター製作について、実行委員会から朝鮮大学校の元職員である副実行委員長に依頼をしておりましたが、平成25年度から平成29年度までのポスター印刷代の領収書に記載されている会社が実在しないことが判明しました。
- ② 実行委員会から副実行委員長へ返還請求が行われ、当該人がかかわったポスター製作の費用全てが弁済されました。市は直ちに小平市補助金等交付規則に基づき、実行委員会へ補助金の一部取り消しと返還命令を行い、すでに、実行委員会から市に返還されております。
- ③ 必要性を含め慎重に判断してまいります。
- ④ 他に不明なものがないか改めて確認作業を行っております。
- ⑤ ごみ減量推進実行委員会が行う事業に必要な物品等の購入先は、実行委員会の中で決めており、購入先は朝鮮大学校に限定されてはおりません。
- ⑥ 市は、実行委員会が行う事業に対して補助金を交付しており、資金提供しているという認識はございません。
- ⑦ 実行委員会臨時会が開催され、新しい役員の受け手を選任できないことから、本年度の活動をもって、実行委員会の活動を終了し、解散することが決定されました。

質問 磯山 亮議員

「家庭ごみの戸別収集について」

- ① 戸別収集への移行によるコストの増加について
- ② 家庭ごみ有料化に伴う財源の増加について
- ③ 戸別収集への移行に伴い、ごみを出す場所が変更される世帯について
- ④ 収集頻度の見直しによる影響について
- ⑤ 戸別収集のごみ減量の寄与について
- ⑥ ごみ・資源の排出マナーの状態について
- ⑦ 戸別収集を実施による財政負担のデータ比較について

答弁

- ① 近隣の自治体の事例を見ますと、多くの自治体において、おおむね1割から3割の増加となっております。
- ② 概算となりますが、おおむね4億円から4億5千万円を見込んでおります。
- ③ 平成27年度実施の国勢調査では、小平市内の戸建て住宅にお住まいの世帯の割合は、4

4%となっておりますので、同程度の割合の世帯が戸別収集に移行するものと考えております。

- ④ 小平・村山・大和衛生組合にごみを搬入している武蔵村山市や東大和市の収集頻度との大きな差異を解消するとともに、収集経費の増加の抑制や収集にかかる作業効率の向上、また、ごみの減量につながるものと考えております。
- ⑤ 小平市一般廃棄物処理基本計画では、ごみの減量効果は考慮しておりません。
- ⑥ 燃えないごみの分別は改善傾向にあるものの、燃えるごみの中には雑がみなどの可燃性資源が、燃えないごみの中には、いまだ容器包装プラスチックなどの不燃性資源が含まれており、さらなる分別の徹底が必要であると捉えております。
- ⑦ すでに戸別収集を実施している自治体の実施方法や財政負担の状況について聞き取りを行っており、現在は、各自治体から頂いた情報の範囲内で、比較や検討を行っている状況でございます。

2 マイバッグキャンペーンについて

日 時：平成29年10月4日（水）午後2時から午後4時
場 所：いなげや小平回田店
事業内容：マイバッグの利用をPR
マイバッグ利用アンケート
アンケート回収実績：104件

3 食物資源堆肥化講習会について

日 時：中央公民館
平成29年10月10日（火）・11月15日（水）
午後2時から
小川町1丁目地域センター
平成29年10月12日（木）・11月14日（火）
午後2時から
講 師：小平市ごみ減量推進実行委員会食物資源化部会

4 廃食油から作るせっけん講習会について

日 時：平成29年10月26日（木）
午後1時30分から午後4時
場 所：中央公民館
講 師：小平市ごみ減量推進実行委員会エコらいふ部会
参 加 者：13名

5 リサイクルきゃらばんについて

日 時：平成29年11月9日（木）
午後1時30分から午後3時30分
場 所：東部公園駐輪場
回 収 量：陶磁器食器・・・870kg
小型家電・・・31kg
廃食油・・・40ℓ
未利用食品・・・10kg
牛乳パック・・・2kg
雑貨類・・・10kg